

編集後記

編集委員を務めて1年半が経ち、ついに編集後記執筆の番が回ってきました。普段は論文や申請書などのフォーマルな文章を書いているため、「なんでも書いて良い」と言われると、逆に何を書いたらよいか迷ってしまい、筆が進みません。そこで、意を決して、私が長年連れ添っている（妻とは別の）パートナーについてお話しようと思います。それは、三菱鉛筆のユニボールシグノ0.38 mm ブルーブラックです。

理論屋の方々はおそらく共感していただけたと思いますが、私たちは日々大量の手書き計算を行いますので、使いやすいペンを探すことは、研究効率向上において非常に重要な課題です。私の場合、高校受験の時から一貫してユニボールシグノを使い続けています。スムーズなインクの流れと、わずかな余白にもびったり書ける細いペン先が、まさに最高です。

大学院生時代、後輩に万年筆を勧められて一度浮気したこともありましたが、基本的にはシグノへの愛を貫いています。ニューヨーク大学に留学していた際、手持ちのシグノを使い切ってしまう、マンハッタンの紀伊国屋

で通常の5倍近い値段を出して購入したことや、オックスフォード大学でのポストドク時代に、一時帰国するたびに大量のシグノを買い込んで持ち帰ったことが懐かしい思い出です。

外国人の共同研究者と議論している時に、シグノを貸して「なんだこれ、使いやすい！」と言わせるのも楽しみでした。役所に提出する文書にブルーブラックで書くと、途中まで黒で書いている妻からは「やめてくれ」と言われますが、「公的文書は青字でもOK」と言い返して、使い続けています。

ところが、最近私のシグノ一筋の心を揺るがすものが現れました。それは、E-ink タブレットです。これは実に良いですね。紙に書くと、その後のスキャンや LaTeX 化が面倒ですが、クラウドサービスで同期すれば、リアルタイムに PC でスクロールしながら昔のページも簡単に見ることができ、非常に便利です。最近では、「シグノちゃん、ごめん」と心の中で謝りながら、E-ink タブレットを使い続けています。
(川面洋平)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	安藤 晃		
副 会 長	坂本瑞樹(推薦委員長: 研究助成)	花田磨砂也(男女共同参画委員長)	
常務理事	市口勝治(総務委員長)		
理 事	渥美寿雄	居田克巳	稲垣 滋
	大原 渡	兄玉了祐(広報委員長)	古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長)
	坂本克也	白藤 立	仙波智行(財務委員長)
	田中康規(企画委員長)		鳥養祐二(研究部会連絡委員長)
	藤田隆明(年会運営委員長, 企業展示検討委員長)		村上 泉(編集委員長)
監 事	前田達志	立松芳典	林 伸彦

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡(山口大) 応 用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 村上 泉(核融合研) 副委員長: 鳥養祐二(茨城大)
エディタ: 前原常弘(愛媛大), 稲垣 滋(京大), 重森啓介(阪大), 高橋裕己(核融合研), 石澤明宏(京大), 大矢恭久(静岡大)
編集委員: 伊神弘恵(核融合研), 池田善久(愛媛大), 伊藤 悟(東北大), 宇藤裕康(量研), 岡本征晃(石川高専), 小田靖久(摂南大), 恩地拓己(九大), 河内裕一(名大), 川面洋平(宇都宮大), 小島完興(量研), 小林達哉(核融合研), 佐野孝好(阪大), 篠原正典(福岡大), 白戸高志(名大), 曾根宏隆(豊田自動織機), 高橋一匡(長岡技科大), 富田健太郎(北大), 中野治久(核融合研), 中村友祐(名大), 成田絵美(京大), 難波愼一(広島大), 針谷 達(岐阜大), 皇甫度均(筑波大), 古川武留(神戸大), 松岡清吉(量研), 本島 巖(核融合研), 山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第2号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2025年(令和7年)2月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。